

東京湾の大規模高潮浸水想定 of 計算条件

	シナリオ A	シナリオ B	シナリオ C	シナリオ D	シナリオ E	シナリオ F
目的	現時点での高潮防護能力の検証			長期的な気候変化に対するリスクの把握		
潮位の初期条件	朔望平均満潮位			朔望平均満潮位 + 0.6 m		
台風の規模	伊勢湾台風級		室戸台風級	伊勢湾台風級	室戸台風級	
海岸保全施設 条件設定	現 状	地震による被災を想定し、耐震性の有無が不明な施設及び耐震性を有さない施設は存在しないものと仮定。		現 状		全ての水門が閉鎖できず、ゼロメートル地帯で破堤が発生するものと仮定。

< 留意事項 >

海岸保全施設の整備状況については、海岸省庁（水産庁、農林水産省農村振興局、国土交通省河川局）及び海岸管理者の協力を得て、平成 20 年度末現在の天端高及び耐震化状況を設定。その他の護岸等（民有護岸・岸壁等）については地盤高と同じものとして設定。

本想定では、東京湾沿岸部分からの越波・越流等による浸水を計算したものであり、河川堤防からの氾濫浸水及び排水は考慮していない。

本想定は、東京湾沿岸全体で影響人口が最も大きくなると推測される台風コースを設定した場合の最大浸水深を示したものである。地域によっては、台風コースにより、本想定よりも最大浸水深が大きくなる可能性がある。

個別の施設等の安全性については別途詳細な検討を要する。

シナリオ D、E、F については、長期的な対応策を検討することを目的に将来の海面上昇を考慮しており、直ちに発生するものではない。